

「JR連合ビジョン」と
政策提言の実践を通じて
JR産業の持続的成長と
組合員の幸せを実現しよう!

http://www.jr-rengo.jp



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
1部20円 (但し組合費に含む)
●発行者/荻山市朗 ●編集者/相良夏樹



7月に引き続き 貨物鉄産労へ仲間が加入 (10月26日付)

第49回衆議院議員選挙結果を踏まえてのコメント

2021年11月1日

日本鉄道労働組合連合会(JR連合)

第49回衆議院議員選挙において、ご支援ご尽力いただいた組合員や家族の皆さまに御礼申し上げます。また、推薦候補の必勝に向けて献身的に奮闘されたすべての関係者にも敬意を表し、心から感謝を申し上げます。

4年ぶりとなる今回の衆院選は、2012年からの第2次安倍政権以降8年10か月に及んだ自民・公明連立政権、国会・国民軽視の驕りが見られる自民一強政治への評価が問われる選挙であった。新型コロナウイルス感染症(コロナ禍)が世界を蹂躪し、国民が生活苦や将来不安に陥る中、各種支援策や経済回復と国民への分配政策のあり方等が主な争点となった。そして、野党5党は全289小選挙区のうち213選挙区で候補者を一本化し、132選挙区において事実上の与野党一騎打ちの構図が生まれた。

こうした中、JR連合は各単組からの推薦にもとづき、連合の方針およびJR連合の掲げる運動理念、諸政策に賛同する候補者138名の推薦を決定し、当選に向けた取り組みを全国で展開してきた。とりわけ、JR連合国会議員懇談会の副会長である泉健太氏(京都3区)や、同事務局長である小川淳也氏(香川1区)、同幹事である岸本周平氏(和歌山1区)、広田一氏(高知2区)、原口一博氏(佐賀1区)、大串博志氏(佐賀2区)に加え、元副会長である伴野豊氏(愛知8区)の7名を最重点候補者に、また「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属する候補者を重点候補者に指定し、コロナ禍への対策をはじめとする候補者各位からのJR連合への支援に応えるべく、各単組の最大限の支援により選挙戦を闘い抜いた。

10月31日に行われた投票の結果、自民・公明の両党は公示前より12議席を失ったものの293議席を獲得し、絶対的安定多数を確保した。また自民党は15議席を失ったものの261議席を獲得し、単独過半数を確保した。一方で、野党勢力は、国民民主党が公示前より3議席増の11議席を確保したものの、立憲民主党は14議席を失い96議席獲得に留まるという極めて厳しい結果となった。JR連合としては、最重点および重点候補者の25名を含む推薦候補者58名の当選を果たしたが、最重点候補者の一人である広田一氏をはじめ、誠に残念ながら複数の推薦候補者が当選に至らなかった。今選挙では、総じて野党に政権を託すという機運は高まらず、勢力構造を変えることはできなかった。政権交代可能な二大政党制の構築に向けては、投票率が約55%と低迷し、政治への関心が高まらなかった今選挙結果を深刻に受け止め、課題を検証しつつ、次期参議院議員選挙とさらなる未来を視野に入れた取り組みが求められる。

コロナ禍により経営危機に陥った交通運輸・観光サービス産業に対する支援策や、度重なる自然災害への対応、労働法制、社会保障、教育・子育てなど、国民・働く者の生活に直結し、かつ個別労使では解決し得ない大きな課題が山積する中、解決・前進を図るためには、国会の場で我々の声を代弁する政治勢力との連携が欠かせない。JR連合は今選挙の結果を真摯に受け止め、引き続き政界の動向を注視しつつ、議員懇談会および議員フォーラムの体制を見直すとともに体制強化を図り、政策課題、組織課題の解決に向け取り組んでいく。併せて、来夏に控える参議院議員選挙に向けて、引き続き組織内においても、政治活動の意義の浸透やさらなる政治への参画意識の醸成などについて議論を深めつつ、次なる国政選挙への対応を進めていくこととする。

以上



上)他陣営を大きく引き離し勝利した泉健太氏、左)小選挙区での当選を果たした小川淳也氏



また、いわゆる野党共闘により、多くの小選挙区で

推薦候補者58人が当選を果たす フォーラム所属候補は19人が当選 伴野元議員懇談会副会長も当選

10月14日の解散を受けて実施された第49回衆議院議員総選挙は、10月31日に投票開票を迎えた。JR連合は国会議員懇談会所属候補者6人、元所属候補者1人の計7人を最重点候補、21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属議員30人の重点候補を含め138人の候補者を推薦し、58人が見事に当選を果たした。

今回の衆院選は、コロナ禍で迎える初めての総選挙となった。そのため、選挙の争点としてこの間のコロナ対策の評価、今後の経済対策のあり方等が取り上げられた。さらに、感染者を発生させないように入念なコロナ対策を施しながら選挙運動を実施するという点が過去の選挙と大きく異なり、これまで大きなウェイトを占めていた屋内での個人演説会は各地であり開催されなかった。他方で街頭演説会は相対的に増えたほか、ツイッター等のSNSを



支援への御礼を述べる伴野豊氏

投票率は前回を超える約55%となった。しかし、2012年の第46回衆院選以降、4回連続で50%台の投票率に留まるなど、依然として政治への関心は高まらず、政権交代可能な二大政党制の構築への道のりは遠い。こうした現状を深刻に受け止め、課題を検証しつつ、来夏の参議院議員選挙とさらなる未来を視野に入れた備えが求められる。

選挙の結果、最重点候補の泉健太氏(議員懇談会副会長)、小川淳也氏(同事務局長)、岸本周平氏(同幹事)、原口一博氏(同幹事)、大串博志氏(同幹事)、伴野豊氏(同元副会長)は当選を果たしたが、広田一氏(同幹事)は惜しくも当選に至らなかった。重点候補の21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属候補者は19人が当選を果たした。

■ 連合第17回定期大会 JR産業で働くすべての仲間の 総結集に向けた決意を示す

水秀行氏(日教組)が選出された。JR連合からは、荻山市朗会長が中央執行委員に再任された。

役員選挙では、連合発足以来初の女性会長に芳野友子氏(JAM)、事務局長に清

合の一員として、民主的で全うな労働組合と労使関係の重要性・必要性を訴え、拡げる取り組みを展開していく」とJR産業で働くすべての仲間の総結集に向けた決意を示した。

この発言に対し、連合相原康伸事務局長からは、「交通運輸・観光サービス産業の低迷が続いている。かつての賑わいを取り戻すべく、日々の行動についての合意を社会的に形成していきたい。雇用調整助成金の特例措置について、この制度は雇用の維持・確保において重要な役割を果たしている。しかし、財源が枯渇の危機に瀕しており、当面必要な予算を確保することを連合として求めていく」旨、理解を示す答弁がなされた。

連合は10月6日、都内にて第17回定期大会を開催し、今後2年間の運動方針などを確立するとともに、新役員を選出した。JR連合からは加盟各単組とともに、WEBでの参加も含めて総勢30人が出席した。

質疑において、JR連合からは政所大祐事務局長が発言を行い、「交通運輸・観光サービス産業は、コロナ禍によって壊滅的なダメージを受けている。命綱となっている雇用調整助成金の特例措置をはじめ、雇用維持、産業支援の政策の継続・拡充がまだまだ必要」と訴え、「ウィズコロナ」という現実に向き合い、感染拡大防止と経済活動の両立を模索し、中長期的な視点から、人流・需要を回復していく取り組みが必要」と理解を求めた。さらに、労働組合や労使関係の重要性について、「JR東日本では7割の社員が組合未加入であるほか、JRグループ内には多くの組合未組織企業がある。JR連合は連



「最重点候補」の選挙結果 ()は次点との差

当選	泉 健太	京都3区	89,259票	(+27,585)
当選	小川 淳也	香川1区	90,267票	(+19,440)
当選	岸本 周平	和歌山1区	103,676票	(+42,068)
次点	広田 一	高知2区	55,214票	
当選	原口 一博	佐賀1区	92,452票	(+133)
当選	大串 博志	佐賀2区	106,608票	(+8,384)
当選	伴野 豊	比例(愛知8区)	120,649票	



自動車連絡会第29回総会 雇用と生活を守り 魅力あるバス産業を

自動車連絡会は9月29日、宮崎市内において、第29回総会を開催し、JRバス産業で働く全国の仲間が集まった。JR連合からは政所事務局長、森安祐貴交通政策部長が出席した。

冒頭、挨拶に立った西原一英代表幹事（JR西労組西日本JRバス本）は、改善基準告示の見直しや時間外労働の上限規制などの政策課題について問題提起



合自動車連絡会 第29回総会

コロナ禍で社会が激変した今こそ労使が互いを尊重し議論が必要

した。続いて、政所事務局長は、交通労働協と連合と連携し、移動に対する不安の払拭や人流の回復に向けた政策等の実施を国に求めていることや、サード・バイ・アクト・オブ・ザ・ロード（SAR）の3産別共同行動に連れ、自動車連絡会の意見も政策に反映すべく、各単組が抱える課

題や要望事項を共有するよう要請した。

総会では、バス産業を取り巻く情勢を踏まえ、向こう一年間の運動の展開について協議した。また、総会前日にはJR九州バス宮崎支店の視察を実施し、コロナ禍に伴う休業や在籍出向の実施状況および課題認識等について有意義な情報交換を行った。



コロナ禍での支援の継続・拡充の必要性を訴える

「交通労働協に集う仲間とエッセンシャルな産業としての需要を回復する取り組みと

交通労働協第37回定期総会
将来展望を切り拓く

交通労働協は10月7日、都内にて第37回定期総会を開催し、コロナ禍を乗り越え、交通運輸・観光サービス産業の将来展望を切り拓くべく活動方針を決定した。

冒頭、挨拶に立った住野敏彦議長は、7次にわたる要請行動、公共交通等の安全・安心に関する独自のプロジェクト（P）等により、ハルペッ（HARPE）の3産別共同行動に連れ、自動車連絡会の意見も政策に反映すべく、各単組が抱える課題や要望事項を共有するよう要請した。

交通労働協は10月7日、都内にて第37回定期総会を開催し、コロナ禍を乗り越え、交通運輸・観光サービス産業の将来展望を切り拓くべく活動方針を決定した。

冒頭、挨拶に立った住野敏彦議長は、7次にわたる要請行動、公共交通等の安全・安心に関する独自のプロジェクト（P）等により、ハルペッ（HARPE）の3産別共同行動に連れ、自動車連絡会の意見も政策に反映すべく、各単組が抱える課題や要望事項を共有するよう要請した。

「訂正とお詫び」

本紙第622号（10月1日発行）の1面「青年・女性委員会第30回定期総会」記事で、新議長の写真説明がお名前記載に誤りがありました。正しくは「沖島議長」です。訂正し、深くお詫びいたします。

みんなで暮らしをガード

交通共済 (JR職域共済)

全国交通運輸業労働者共済生活協同組合

災害は避けられない。安心はふやせる。

家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/入院共済

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/入院共済

関係省庁、政党、経団連と 政策に関する意見交換

JR連合は9月、6月に展開した3産別による共同行動について、効果や意義の大きさを確認した。そして10月、「ウィズコロナ」社会の継続を念頭に置き、雇用と生活を守ることを最優先としつつも、「感染拡大防止」と「経済活動の回復・活性化」の両立、「需要と人流の回復」に向けた政策の展開を求める要望事項をとりまとめ、あらためて関係省庁や政党、経団連との意見交換を実施した。

なお、今回は衆議院議員総選挙が目前

- ### 交通運輸・観光サービス産業における雇用の維持と累積する経営ダメージからの回復等に向けた要望事項
1. 公共交通、宿泊・飲食施設等を利用し、安心して移動や観光ができる環境づくり
 2. 現行の雇用維持・確保支援策の継続拡充
 3. 事業活動の継続に必要な財政負担軽減措置の拡充・創設（固定費負担の減免等）
 4. 「人流の回復」すなわち「需要回復・拡大」に向けた持続的かつ安定的な支援策

交通労働協は10月5日、「感染拡大防止」と「交通運輸・観光サービス産業の需要喚起」の両立などを求めている。第7次緊急要請を国交省および観光庁に対して行った。JR連合からは政務局長として萩山会長が参画した。



国交省の寺田吉道公共交通・物流政策審議官に住野議長から要請書を手交

国交省の寺田吉道公共交通・物流政策審議官に住野議長から要請書を手交

「感染拡大防止」と「交通運輸・観光サービス産業の需要喚起」の両立などを求めている。第7次緊急要請を国交省および観光庁に対して行った。JR連合からは政務局長として萩山会長が参画した。



要望事項を説明する萩山会長

者からは、「地域クーポン制度等を活用し、地域産業を含めた需要喚起につとめていく」「12月以降の雇用調整助成金・特例措置延長の判断は、雇用情勢を見ながら10月中に行う」といった発言があり、実際に厚労省は、10月19日に雇調金・特例措置の2022年3月迄の延長を公表した。

国交省の寺田吉道公共交通・物流政策審議官に住野議長から要請書を手交

国交省の寺田吉道公共交通・物流政策審議官に住野議長から要請書を手交

JR連合
ふれあいキャンペーン

グループ労組めぐり

～全国の仲間を応援しよう～

等々、そろそろクリスマスケーキの季節です。現在予約販売絶賛受付中です。ぜひご用命くださいませ。コロナ禍で暗い世の中ですが少しずつ明るい兆しも見えてきました。JR連合、JR九州連合のみなさんと一緒に、これからますます楽しく元気よく頑張っていきたいと思います。ともにがんばりましょう。